

特種部会

少量多種の生産に対応しつつ 高い品質を確保

1. 部会概要

昭和29年に設立。特種車両を製作する会員で構成された部会で、現在は「特種用途自動車の構造要件」に記載のある車種のうち、主に次の車種を製作している会員で構成されている。

- 医療防疫用：レントゲン車、検診車、採血車、等
- 保健用：患者輸送車、車いす移動車、等
- 緊急用：救急車、警察車、護送車、標識車、等
- 公務用：図書館車、野犬捕獲車、等
- 作業工作用：水道作業車、道路維持作業車、等
- 検査測定用：路面測定車、探査車、等
- 放送通信用：衛星中継車、テレビ中継車、等
- 広告宣伝販売用：移動販売車、食堂車、等
- サービス用：現金輸送車、教習車、活魚運搬車、等
- 娯楽用：キャンピング車、移動ハウス車、等

現在の部会は、35会員。

生産台数は、保健用、緊急用、サービス用、作業工作用、医療防疫用の順に多く生産している。近年の部会全体の暦年生産台数は、2003年の約16,300台をピークに2006年には約13,000台となっている。

2. 組織

(1) 2007年度役員は以下のとおり。

- 部会長 古庄 忠信 (株)イズミ車体製作所 取締役社長
- 副部会長 林田 廣一 (株)林田製作所 取締役社長
- 副部会長 五島 洋 (京成自動車工業(株) 取締役社長)
- 監事 河野 美晴 (株)河野ボデー製作所 常務取締役

特種部会

業務委員会

- 委員長 保志 隆平 (ヤナセテック(株)取締役営業部長)
- 副委員長 伊藤 公一 (名自車体(株)取締役事業部長)
- 副委員長 北村 守 (中北車体工作所社長)

技術委員会

- 委員長 高梨 洋一 (東京特殊車体(株)総務部部长)
- 副委員長 田中 敏夫 (株)オーテックジャパン技術管理部部长)
- 副委員長 藤田 雄士 (京成自動車工業(株)取締役営業部長)
- 副委員長 三宅 直志 (トヨタテクノクラフト(株)生産本部長)

(2) 委員会構成と活動内容

業務委員会

中央業務委員会活動内容と部会内の営業関係課題等を進捗。

- ・不正改造根絶活動の推進
- ・会員拡大の進捗
- ・部品共用化 / 共同購入の検討
- ・部会内サービス体制の検討
- ・異業種を含めた研修会 / 工場見学会の実施
- ・部会内情報交換

技術委員会

中央技術委員会活動内容と技術関係課題等を進捗。

- ・特種要件の国土交通省への各種要望、提案
- ・関係法令改正等への対応、意見照会、要望出し等
- ・自動車検査法人との技術検討会の実施
- ・JABIA規格の作成
- ・部会内情報交換



特種車いろいろ

マラソン
中継車



排水ポンプ車

トレーラー型
大型中継車



特殊救護車



特種部会

古庄 忠信 部会長に聞く

(株)イズミ車体製作所取締役社長

会員同士の部品共用化、 サービス体制の設立が重要課題

最近の特種車を取り巻く環境について教えてください。

特種(とくだね)部会は、一部の特殊な物品積載設備を有する自動車(例えばコンクリートミキサ車、冷蔵冷凍車、塵芥車、粉粒体運搬車等)を除いた特種車を製造している会員が集まった部会です。

近年の生産台数を見てみますと、部会全体で2001年に約1.5万台、生産のピークは2003年の約1.6万台でした。昨年は約1.3万台であり、2006年に比べて、約2%増と回復しています。これは、生産台数の多い保険用車両が約10%と減少しましたが、同じく台数の多い緊急用車両が約27%増えていることによります。保険用車両の内訳では、福祉関係が重視されている中、車いす移動車が減少していますが、これは一部のインライン化により減少したもので、車いす移動車の販売全体としての変動はほとんどありません。

特種車は爆発的に売れるということは難しく、世の中の景気、政府の事業変化、補助金の変化などにどうしても振られてしまうことが多いのが実状であります。また最近、材料、部品の値上がりは2005年にあり、その後も高値安定で続いており、特に鋼材、アルミ、特にステンレスが高騰していて、採算面で厳しくなっています。

車種毎の生産台数が少ない中で、部品共用化、サービス体制の設立等が重要な課題となっています。部会員の皆がライバルでもあり、仲間でもあり、お互いに切磋琢磨しながら業界を盛り上げていかなければならない状況であります。

特種部会の主要課題とその取組みについて教えてください。

部会として、次の項目が主要な課題と考えています。これらへの対応を2008年度事業計画に反映し、よりよい部会活動を行っていききたいと思います。



- ・新規JABIA規格の策定
- ・環境課題への部会内取組みの促進
- ・原材料値上げへの対応

また、新規の会員の勧誘も積極的に行いたいと考えています。

今後の計画や抱負はいかがですか？

例年行っている内容ですが、自動車検査法人との技術検討会の定例開催を継続して行い、検査する側と検査に持ち込む側の忌憚のない意見交換を実施し、検査をよりスムーズに出来るようにしていきたいと考えています。

また、部会としての環境対応のやり方、特種としてJABIA規格の新規策定等も部会活動に組み入れて「環境に優しい特種車」造りを行っていききたいと思います。

特種部会は、少量多種の車両を生産していますので、車種を越えた部品共用化等、幅広い協力体制ができれば、より活発な部会活動ができるので、2008年度はより一層押し進めたいと考えています。

Profile

- ◆業務歴
 - 1966年 9月 (有)イズミ車体製作所 入社
 - 1972年 11月 (有)イズミ車体製作所 取締役就任
 - 1993年 12月 (有)イズミ車体製作所 代表取締役社長
 - (1995年 12月 株式会社に变更)

- ◆車工会歴
 - 2004年 5月 理事 就任
 - 2005年 5月 特種部会長 就任

- ◆趣味・嗜好
 - 読書(愛読書は月刊「致知」、氷川清話「勝海舟自伝」)
 - お酒は「フランス産赤ワイン」

- ◆人物寸評
 - 威圧感のある強面の風貌から想像もつかない優しさと信念を持っている九州男児。いろいろな会議でも他人の意見をじっくり聞いてから、ずばっと鋭いご自分の意見を発言されているが、他人への細やかな配慮も決して忘れない方である。